提出　　M.NARITA

個人山行報告書　　ツール・ド・モンブラン　　（アルパインツアー企画に参加）
ルート　シャモニー→ボンノム小屋→セーニョのコル→エリザベッタ小屋→エレナ小屋→フェレのコル
→シャンペ山小屋→シャモニー
山行期間　２０１１年6月２５日～７月３日
参加者　　S.NARITA　M.NARITA

アルペンローゼ

タマキンバイ

ユキワリザクラ

カラフトゲンゲ

6/24　新幹線で成田空港前泊

6/25　一日目　成田空港第一ターミナル北ウイング４Ｆ１１時半集合。午後アムステルダム乗換えでシャモニーへ。ホテル　プルウレ泊。

6/26　二日目　朝ホテルプルウレから３名（中部１、関空２名）増え１５名の参加ではじまった。ツアーリーダーは融子さん（スイス、グリンデルワルト滞在６年)、フランス人ガイドのマーク氏二人の絶妙コンビが私たち初対面を安心させてくれた。
足慣らしを兼ね日帰りで「ツール・ド・モンブラン」のコース西部分のアンデックス（2385 M）の絶景山上湖ラック・ブランまで３時間程歩く。ロープウエーからみたアルペンローゼの赤い絨毯！花・はな・すでに花の目に変わる。ラック（湖）・ブラン（白い）白い湖に逆さモンブランが映る。湖のほとりでランチをとり、シャモニーへ戻る。夕方４時過ぎ、晩飯まで時間があるので、オプションでエギュー・ド・ミディー（３８００m）までロープウエイーで登る。この時期のヨーロッパは午後１０時頃まで明るい。空気の薄さを感じた。

6/27 三日目（トレッキング１日目）天気良好８時半専用バスで山群西面ノートルダム・ド・ゴルから９時４５分出発。谷筋から高度差１１００m登ってボンノムのコル（２３２９m）へ。斜面をトラバースしてクロワ・デュ・ボンノムのコル（２４７９m）を越えボンノム小屋へ夕方５時過ぎ到着。乾燥性で日差は強く、２Ｌの水分補給したが体はさらさら長い距離を歩いた。小屋は４名づつの２段ベット私は埼玉の岩桜登高会から参加した女性２名と同室になり、花好き３名で話がはずんだ。夕食時食堂でフランス人のコーラスの後私たちが指名され「上を向いて歩こう」を合唱した。世界にメロデーが知られているので、“ブラボー”でした。

ラック・ブラン

ボンノム小屋前で

アルパインゲンチアン
（アルプスの青い星）

ｹﾞﾝﾃｲｱﾅ・コキアナ
（チャボリンドウ）

アルピナウンラン

クモノスバンダイソウ

キバナノオキナグサ

6/28 四日目トレキング２日目天気良好７時半出発。３０分歩いて雪渓をトラバースしフーのコル（２６６５m）に着く。岩盤の上で休憩。アイベックスが散歩に現れた。そこから 900m下りグラシェ谷（１７８９m）へ、緩い谷を登り 11 時半モッテイー小屋でランチ。冷たいトマトサラダとお米の用なパスタどちらも美味しい。しかし連日の暑さで東京から参加した女性が熱射病で体調崩す。荷物はマークが背負い私がビダイン・ゼリーをあげ１日で復帰（さすが健脚）午後は高度差 700m登ってセーニョのコル（2516m）（フランス/イタリアの国境）を越える。イタリア側の大パノラマが開ける。「ピュー」と笛を吹くようなマーモットを見る事ができた。彼らの食料は高山植物。今日の宿のエリザベッタ小屋に 5 20 分到着。マッシュポテトと豚ステーキはおいしかった。ベットは３段の蚕棚にそれぞれ。

6/29 五日目（トレッキング３日目）晴れ。
7 時 45
分出発。昨日までと違いイタリアの清涼な風、アンテリス・プルネラリ（日本には無い）が一面に咲き黄色のカーペットにコンバル湿原を 2 時間下りバスでイタリアの登山街、クールマイユールで本場のピッツアとパスタのランチ、前菜もピザとは驚き。グラッパと言う洋酒も出されるが午後の登りを思い一口にした。エスプレッソもきりりと美味しい。午後天気崩れるだろうと少し急ぎの登り 2026m のエレナ小屋まで雪渓三箇所、徒渉一箇所をを越え 4 時到着。エレナ小屋の夕食は楽しくワインで乾杯その後回し飲み（コーヒーにリキュウル入り）で少し悪良いし眠りが浅く何度もめざめた。その夜しとしと雨になった。

6/30 六日目（4 日目）霧雨午後晴れ 8 時出発。霧雨の中急斜面を高度 500m登りフィレのコル（イタリア/スイスの国境）は強風で長く居ると寒く急ぐ。緑の谷を下り牧場の山小屋でお昼にする。中はまきストーブで、暖かかった。紅茶を注文しサンドイッチを食べた。その後 900m下りフリー村へ、。バスでシャンペ（1477m）へ下り宿に着く頃日差しが強かった

7/1 七日目（トレッキング５日目）天気良好 8 時タクシーでフォルクラ峠（1527m）から 600m登り（スイス/フランスの国境）バルムのコル（2191m）へ。モンブランの絶景が見られマークがジェネピーと言う花の洋酒で別れの杯をみんなに振舞ってくれた。あっと言う間に過ぎ、融子さんとマーク、皆さんとの別れを惜み 7/2 飛行機乗り継ぎで 7/3 日本へ着く。

セーニョのコル
（フランス/イタリア）

エレナ小屋の前で後は氷河

エレナ小屋のデイナー

バルムのコル
（スイス／フランスの国境）

ニグラ・バニララン（ラン科）

アルプスの白いキクとコケマンテマ

フーのコルから
アイベックスを見る

イワカガミダマシ

リリー・マルタゴン

ヤグルマギク
（綿毛のような蕾）

アンテイリス・プルネラリア
（コンバル湿原を黄色に染める）